

令和5年度
事業報告

公益社団法人 横浜歴史資産調査会

令和5年度事業の概要

「歴史を生かしたまちづくり」に大切な歴史的資産を、都市計画の視点から戦略的に調査・保全・活用を開始してから35年が経過した。

令和5年度も歴史的建造物や近代化遺産等の歴史的資産を生かした魅力溢れるまちづくりに向けて歴史的資産の調査研究をはじめ、保全・活用を目指した保護事業も積極的に実施した。

さらに「歴史を生かしたまちづくり」を推進するために、広く市民や専門家を対象にセミナーや講演、シンポジウム等を開催した。

併せて、「歴史を生かしたまちづくり」を円滑に行うための普及啓発、人材育成事業を行った。

令和5年度に実施した具体的な事業は次のとおりである。

注) 氏名については敬称略。

所属・役職等については、事業実施時点のもの。

1. 歴史を生かしたまちづくり推進事業（公益目的事業）

（1）調査事業等

＜横浜市都市整備局からの負担金事業＞

（ア）歴史的建造物保全・活用計画関連調査

歴史的建造物や近代化遺産等の歴史的資産を保全・活用するための調査を実施した。

調査は現地での歴史的資産の現状把握及び所有者へのヒアリング、建物調査、文献調査、所見作成等である。調査結果は、当公益団体の公益目的事業である「歴史を生かしたまちづくり推進事業」に活用するとともに、横浜市認定並びに登録歴史的建造物、横浜市指定文化財、及び、国登録有形文化財等の方策に積極的に役立てることとする。

＜自主調査＞

① 旧湘南電鉄（現・京浜急行電鉄）瀬戸変電所の修復調査及び同変電所保存活用委員会の開催等（金沢区）

a. 保存活用委員会の開催等

旧湘南電鉄瀬戸変電所の保存活用を推進することを目的に、令和元年度に保存活用委員会を設置した。令和3年度は、修理計画に向けた議論を行った。

令和5年度は、保存活用委員会を開催しなかった。その代わりに、京浜急行電鉄、横浜市都市整備局都市デザイン室等との調整やワーキング会議を行った。

なお、新たに瀬戸変電所の建物を当公益団体へ寄附する関係から京浜急行電鉄の財務担当者も加わり、具体的な保全対策を考えた。

【保存活用委員会構成メンバー】

委員長 後藤 治(工学院大学理事長)

委員 西澤英和(関西大学教授)

田村雅紀(工学院大学教授)

小野田滋(公益財団法人鉄道総合研究所アドバイザー)

山本博士(公益社団法人神奈川台場地域活性化推進協議会理事長)

大野道夫(京浜急行電鉄(株)鉄道本部施設部工務課担当課長)

光田麻乃(横浜市都市整備局都市デザイン室長)

吉田鋼市(当公益団体副会長・横浜国立大学名誉教授)

オブザーバー

原 幸一(京浜急行電鉄(株)鉄道本部施設部工務課課長補佐)

太田大輔(京浜急行電鉄(株)鉄道本部施設部工務課主任)

事務局

米山淳一(当公益団体常務理事)

菅井 稔(当公益団体主任研究員)

亀井泰治(当公益団体研究員) ※横須賀市職員による協力

b. 修理計画調査

当公益団が将来、京浜急行電鉄より寄贈を受け保存・活用計画を実施するに当たり、平成 29 年度は建屋のコンクリート等の耐震診断調査及び現況把握調査を、平成 30 年度は地盤並びに建物の振動性及びレーザーを用いた建屋の鉄骨や鉄筋調査を行い、建屋は鉄骨や鉄筋を併用した強固な構造で建設されていることが判明した。

令和 2 年度に行った建物の具体的な構造補強や屋根、窓周りを中心とした外板の調査結果を踏まえ、これに関する経費算出のための専門家による現地調査等を令和 3 年度に行い、その結果をまとめ修理計画書が出来上がった。

調査者：株式会社長坂設計工舎 長坂健太郎、上村一貴

：株式会社栄港建設 佐田あゆみ

調査指導：後藤治(保存活用委員会委員長・工学院大学理事長)他

c. 事業化に伴う保存活用の考察

建物は、立地条件などから事務所としての用途が認められているが、イベント的に作品展示会等の開催が可能である。そのため鉄道愛好家、写真家、建築家などの事務所として貸し出しを予定している。また、貴重な鉄道考古品の収蔵も行う計画である。

② 倉石忠雄家住宅現況把握調査等（長野県千曲市）

長野県北信地区の生糸や絹織物集散地として横浜と歴史文化的関係の深い千曲市稲荷山地区（国重要伝統的建造物群保存地区）にある旧倉石忠雄家住宅（元衆議院議員・労働大臣、農水大臣を歴任）の国重要文化財指定に向けての現況把握調査を平成 30 年度から継続で千曲市歴史文化財センターの調査費で実施している。

令和 5 年度は、矢島宏雄氏のご指導で伝統的建造物としての修理計画を検討した。さらに関係資料の整理を行った。

なお、所有者の倉石久寿氏から旧倉石家住宅をスローフードの研究団体に貸与することになった。との申し出を受けたので、当公益団としての関わりは、令和 5 年度で、終了にしたい。

新たな対象として、千曲市文化財センターのご指導のもと、重伝建地区「稲荷山宿」内に修理を終えた伝統的建造物を活用し絹文化の交流拠点を構えることで調整を開始した。

調査日：令和 6 年 2 月 9 日(金)

小野紀男(千曲市歴史文化財センター係長)

担 当：米山淳一（当公益団常務理事）

③ 旧モーガン邸再建計画等（藤沢市大鋸）

不審火で焼失した旧モーガン邸の再建を目指し、平成 29 年度に当公益団で実施した復元再生計画調査の結果を踏まえ、再建に向けた再建委員会を組織し、委員会を開催し合わせて再建調査を開始した。（委員名

簿は（２）②参照。）

委員会では、具体的な再建のための資金、設計内容や、活用、管理等に関する検討をおこなった。

また、募金計画の検討を行い、この結果を踏まえ、事務局で作成したパンフを広く配布し、募金活動を行った。

さらに、具体的な再建手続きにむけて、ワーキング会議メンバーを中心に、藤沢市建築指導課等との調整をおこなった。

一方で、日常管理や運営を行っている「NPO法人旧モーガン邸を守る会」、土地の7割を所有する藤沢市（担当・生涯学習部郷土歴史課文化財担当）、当公益団体の3者で構成する「旧モーガン邸再建活用検討会」（ほぼ毎月第3金曜日に藤沢市役所で開催）にて、委員会での取り組み等を随時報告するとともに再建に向けた問題や課題に関して話し合った。

また、竣工時の姿を残す、中門の国登録有形文化財への登録に向けて文化庁、神奈川県、藤沢市と今後の取り組みを調整した。

<負担金・受託調査事業>

歴史的建造物の保全計画案等 横浜市都市整備局からの負担金事業

① 歴史的建造物の概況調査・所見等

- a. 池谷家住宅（港北区綱島東）
 - ・ 建物の保全活用計画にかかる意見聴取
 - 調査者：大野 敏（当公益団専門委員・横浜国立大学教授）

- b. 井上良齋窯場（南区永田東）
 - ・ 歴史的建造物の所見
 - 調査者：青木祐介（横浜開港資料館副館長）

- c. 山手237番館（中区山手町）
 - ・ 保全計画案の策定・所見
 - 調査者：兼弘 彰（よこはま洋館付き住宅を考える会代表）
 - ・ 現地調査及び所見
 - 調査者：関 和明（当公益団専門委員・関東学院大学名誉教授）

- d. ビロス邸（中区山手町）
 - ・ 実測図面の作成、沿革に係る調査及び保存活用計画案作成所見
 - 調査者：白川葉子（建築家）

- e. 宇田川邸（中区山手町）
 - ・ 沿革に係る調査及び所見
 - 調査者：白川葉子（建築家）

- f. 近澤邸（中区山手町）
 - ・ 保全活用計画案の策定・所見
 - 調査者：白川葉子（建築家）

・ 所見

調査者：関 和明（当公益社団専門委員・関東学院大学名誉教授）

g. 三井住友銀行横浜支店（中区本町）

・ 保全の方向性に係る意見聴取

調査者：関 和明（当公益社団専門委員・関東学院大学名誉教授）

h・ 保全の方向性に係る意見聴取

調査者：吉田鋼市（横浜国立大学名誉教授）

L. 高田家住宅（（鶴見区諏訪坂）

・ 認定に向けた調査

調査者：大野 敏（当公益社団専門委員・横浜国立大学教授）

② 野毛都橋商店街ビルの建造物の現況と中長期修理計画の作成

同建物は、昭和39年（1964）竣工の歴史的建物で、横浜市登録歴史的建造物である。将来に亘り、横浜らしい都市景観を形成する重要な建物として保全・管理・活用したい。

そのための現況調査、修理費積算調査を行った。

調査者：中村 武（建築家）、

井上和廣（建築家）、長谷川 博（設備設計）

③ 歴史的建造物の保全に係る相談室案件

歴史的建造物の保存活用に向けて、市民相談室を経て調査を行った。（下記（イ）参照）

a, 谷戸家住宅（磯子区滝頭3丁目）

・ 建物実測図面作成、所見、国登録有形文化財に向けた資料の作成
他

調査者：小沢朝江（当公益社団専門委員・東海大学教授）

（イ）歴史を生かしたまちづくり相談室の実施

歴史を生かしたまちづくり推進事業を円滑に進めるために、より広く市民等から関連の情報を頂く相談室を開設している。令和5年度は前年度からの継続5件であった。

① 西教寺（南区三春台）※継続

昭和7年建造の鉄筋コンクリート造りである西教寺本堂は、住職や専属の設計業者から横浜市認定歴史的建造物または横浜市指定有形文化財への希望があり、当公益社団では令和元年度に建物の現況調査や所有者へのヒアリング調査を行ったところであるが、令和5年度は、

横浜市文化財係担当者が西教寺を視察。横浜市指定文化財に向けて新たな展開となった。

② 谷戸家住宅の維持管理（磯子区滝頭）＊継続

谷戸家住宅は、磯子区に残る昭和初期の近代和風建築である。所有者のご意向で、現状のまま住み続けたいとしているが、若夫婦は風呂や台所をはじめ水回り等を現代の生活に合わせた設備に更新したいと所有者の父を説得するがなかなか理解を得られない。

そこで、建物を尊重して改修するため指導依頼の相談があり、小沢朝江さん（当公益社団専門委員・東海大学教授）に所有者の意向を伺うとともに建物調査等を行っていただき、報告書をまとめた。その結果、所有者の合意の元、国の登録有形文化財の申請の方向性を見いだした。合わせて横浜市の登録、認定歴史的建造物制度や国登録有形文化財制度の説明を行った。

また、相続税や固定資産税についてもアドバイスをを行った。

③ 旧井上良斎登り窯と谷戸の景観保全（南区永田東）※継続

平成29年に南区役所区政推進課まちづくり担当と所有者の川井興一氏からの依頼で相談室案件となり、平成29年度から現地を訪問。これが縁となり、再び南区から都市デザイン室に依頼があり、保存に向けた取り組みが始まった。

現在、市民団体である「登り窯と永田の自然を守る会」がこの地で活動しており、地区全体を将来に亘り保全し、後世に伝え残したいとしている。

なお、南区区政推進課まちづくり担当者から当公益社団が所有保全する方向での打診があった。しかし、南区の担当が代わり、都市デザイン室との調整不足もあり、進展していない。

④ 旧長濱検疫所一号停留所の保存（金沢区長浜）＊継続

明治期の検疫の拠点だった旧長濱検疫所施設の中でも一番大規模な木造建築が一号停留所である。現在は国の登録有形文化財で、厚生労働省の所有だが、施設機能が新たな地に移転するに伴い、解体の危機にある。これを地元で保全活用するべく活動しているのが「NPO 法人野口英世よこはま顕彰会」である。同会は、現地での保全活用を目指すべく活動中で、保存に向けた相談があり、アドバイスや講演などを通じ、交流を深めた。

しかし、時が進むにつれ同 NPO 法人と地元町内会との保存活動や考え方のずれが表面化した。保存に向けた合意形成に至らぬまま、厚生労働省と横浜市の間では、海の公園への移設保存が進みつつある。

しかし、同 NPO 法人は、現状の地から半径 200m 以内に移設し、保存・活用することを諦めていない。そのため、同 NPO 法人が主催の市民向けの講演会やシンポジウムが開催され、この場で現地での保存やこれを生かしたまちづくりの方策をアドバイスした。

○講演会の開催

令和5年10月8日（日）旧長濱検疫所一号停留所保存活用シンポジウム
講師 庄司昌子（元関東学院大学教授）

米山淳一（当公益社団常務理事）
司会 平山次晴（野口英世よこはま顕彰会）
主催 同 NPO 法人

⑤ **伊藤美弓家住宅（鶴見区馬場）＊継続**

公益財団法人緑の協会からの委託事業で職員や市民向けのセミナーや歴史講座を行っている。令和4年11月19日（土）の馬場花木園内古民家・藤本家で西脇敏夫（当公益社団監事）が行った横浜の歴史を生かしたまちづくり・アーバンデザイン50周年の歴史講座の参加者から「倒壊しそう」と相談があったのがこの案件。

これを受け、水沼淑子（当公益社団専門委員・関東学院大学名誉教授）が所有者の意向や現況把握にお伺いした。昭和30年代竣工の洋画家木下孝則氏のアトリエ建築である。戦後建築らしいモダニズムの外観を備えている。南側一部や塗装を更新しているが大部分は手はいっていない。

伊藤美弓さんは、この建物を残して行きたいという意思をお持ちで、調整を続け実現に向けたアドバイスを行った。

(ウ) 俣野別邸庭園内歴史的建造物の助言・指導

[公益財団法人横浜市緑の協会受託事業]

平成29年4月から公開された「俣野別邸庭園」（横浜市戸塚区）の管理運営に関する助言や同庭園の職員研修セミナーをはじめ、同協会が管理する山手西洋館等の「○職員研修セミナー」、「●市民向け歴史講座」を令和5年度も行った。

○令和5年10月19日（木）13時30分～14時30分

俣野別邸庭園 職員研修セミナー

講師：米山淳一（当公益社団常務理事）

演題：「横浜の歴史を生かしたまちづくり」

●令和5年11月9日（木）14時～15時

山手ベーリックホール 市民向け歴史講座

講師：米山淳一（当公益社団常務理事）

演題：「開港五都市の歴史を生かしたまちづくり」

●令和5年11月16日（木）14時30分～15時30分

山手ベーリックホール 市民向け歴史講座

講師：小田島鉄朗（横浜市環境創造局）

演題：「関内と山手の歴史的建造物を訪ねる」

○令和5年11月16日（木）14時～15時

俣野別邸庭園 職員向けセミナー

講師 米山淳一（当公益社団常務理事）

講演：「弘前市と黒石市の歴史を生かしたまちづくり」

●令和5年11月18日（土）11時～12時

馬場花木園・藤本家住宅 市民向け歴史講座
講師：安藤邦廣（つくば大学名誉教授）
演題：「全国の茅葺き民家」

○令和5年12月4日(月) 14時～15時
俣野別邸庭園 職員研修セミナー
講師：小林光一郎(横浜市歴史博物館学芸員)
演題：「近代の金沢八景の生活文化」

○令和5年12月21日(木) 14時～15時
俣野別邸庭園 職員研修セミナー
講師：米山淳一（当公益社団常務理事）
演題：「新潟の豪商・豪農の生活文化」

○令和6年1月18日(木) 14時～15時
俣野別邸庭園 職員研修セミナー
講師：菅 孝能（株・山手総合計画研究所会長）
演題：「地域の文化遺産 湘南の別荘建築」
—葉山から鎌倉・藤沢—

○令和6年2月15日(木) 14時～15時
俣野別邸庭園 職員研修セミナー
講師：菅 孝能（株・山手総合計画研究所会長）
演題：「地域の文化遺産 西湘の別荘建築」
—大磯、小田原、箱根—

●令和6年3月11日(土)14時～15時
俣野別邸庭園市民向け歴史講座
講師：水沼淑子（当公益社団専門委員・関東学院大学名誉教授）
演題：「湘南・藤沢の歴史的建造物を訪ねる」

(2)保護事業

<自主事業>

①野毛都橋商店街ビルの保全・管理(横浜市中区)

平成29年9月に公益財団法人横浜市建築助成公社より寄贈を受けた「野毛都橋商店街ビル」の保全・活用を行った。

また、各店舗の故障した煙熱探知器の取り換え、防災や電気設備の検査や点検等をおこなった。

さらに、映画やコマーシャルのロケ地撮影を通じて歴史文化的価値をアピールし、合わせて使用料を建物保全のための寄付金として頂いた。

☆ロケ撮影を行った番組等(11本)

・劇場公開予定映画

- 「グラスドラゴン」
- ・ガイドブック
 - 「日本史の中の神奈川県」山川出版社
- ・TVCM
 - 「ソフトバンク」
- ・東映映画（令和6年5月公開予定）
 - 「帰ってきた あぶない刑事」ポスター
- ・BSフジテレビ
 - 「ビルぶら！」（梶原 善出演10月16日放送）
- ・ガイドブック
 - 「地球の歩き方」神奈川版（発売中）
- ・結婚式用記念撮影
 - 「個人」（東京都大田区在住）
- ・ガイドブック
 - 「地球の歩き方」横浜版（6月発行予定）
- ・アスミックエース映画（今後公開予定）
 - 「まる」（荻上直子監督作品）
- ・テレビ東京
 - 「ぶっちぎり?!」（アニメ1月放送済み）
- ・ミュージックビデオ
 - 「個人」（埼玉県在住）

②「建築家 J. H. モーガン自邸」（藤沢市）の再建・保存・活用

当公益社団では、「旧モーガン邸再建委員会」を設け、準備会を含めて、委員会を開催し、再建に向けた募金計画やパンフレットを作成した。

また、敷地内の車庫、温室、ポンプ庫小屋、正門、中門等について火災保険、さらに敷地内トラブル対策のために損害保険に継続加入した。

NPO 法人旧モーガン邸を守る会、藤沢市生涯学習部郷土歴史課文化財担当と力を合わせて「モーガン邸再建活用検討会」（ほぼ毎月第3金曜日開催）を開催し、再建委員会と歩調を合わせたかたちで、事業を展開した。

また、「NPO 法人旧モーガン邸を守る会」主催の募金コンサートや庭園公開他の活用イベントに共催するなど積極的に協力した。

◎旧モーガン邸再建委員会名簿

委員長 水沼淑子（当公益社団専門委員・関東学院大学名誉教授）

委員 大野 敏（当公益社団専門委員・横浜国立大学教授）

小沢朝江（当公益社団専門委員・東海大学教授）

菅 孝能（(株)山手総合計画研究所会長）

徳重淳子（NPO 法人旧モーガン邸を守る会理事長）

福永雪子（NPO 法人旧モーガン邸を守る会副理事長）

堀 靖子（NPO 法人旧モーガン邸を守る会理事）

栗山直子（NPO 法人旧モーガン邸を守る会理事）

佐藤里紗（NPO 法人旧モーガン邸を守る会理事）

事務局 米山淳一（当公益社団常務理事）

門倉正幸（当公益社団総務担当）

◎委員会の開催

準備会 令和3年11月22日(月)藤沢商工会議所ミナパーク会議室
第1回 令和3年12月13日(月)藤沢商工会議所ミナパーク会議室
第2回 令和4年1月17日(月)藤沢商工会議所ミナパーク会議室
第3回 令和4年3月7日(月)藤沢商工会議所ミナパーク会議室
第4回 令和4年6月20日(月)藤沢商工会議所ミナパーク会議室
第5回 令和4年11月17日(月)藤沢商工会議所ミナパーク会議室
第6回 令和5年5月31日(水)藤沢商工会議所ミナパーク会議室
第7回 令和5年12月15日(金)藤沢商工会議所ミナパーク会議室

(3)普及啓発、人材育成事業

セミナー・シンポジウム等の開催及び刊行物の作成

歴史を生かしたまちづくりを推進するためには、市民、専門家、企業等の理解や参加が大切である。歴史的資産の保全・活用のための普及啓発を目的としたセミナー等の開催及び刊行物の作成を、以下のとおり行った。

<自主事業>

① シルクロード・ネットワーク・2023 横浜大会開催への支援

シルクロードネットワーク協議会は、設置10年を機に令和6年3月16日(土)～3月17日(日)横浜市で開催した。

*NPO法人建築・街・文化再生集団(RAC会)と共催

*当公益社団が代表幹事団体として事務局を担っている。

○3月16日(土) 山手西洋館見学会

ベーリックホールでガイダンスをおこない、3班に分かれて行った。

見学コース

ベーリックホール→山手西洋館群(住宅街)→エリスマン邸→西洋館基礎遺跡→234番館→外国人墓地正門→111番館ラフィン邸→イギリス館→港の見える丘公園→交流会へ

○3月17日(日)シルクフォーラム 会場 横浜みなと博物館会議室

代表幹事団体あいさつ 米山淳一(当公益社団常務理事)

RAC会あいさつ 星 和彦(元前橋工科大学学長)

基調講演 「日本の繁栄を支えた絹貿易」

西川武臣 (横浜開港資料館館長)

基調講演 「合掌造り民家は養蚕民家だった」

三島敏樹(白川郷田島家養蚕展示館館長)

パネルディスカッション

コーディネーター

後藤 治(当公益社団理事・工学院大学理事長)

パネラー

- ・シルク博物館について：高橋典子（シルク博物館副館長）
- ・旧農林省蚕糸試験場新庄支所（新庄市エコロジーガーデン「原産の杜」）：
加藤 明（新庄市商工観光課クールジャパン新庄推進室長）
- ・未来へ紡ぐサムライゆかりのシルク：佐藤直翔（鶴岡市細作企画課）
- ・養蚕の隆盛をいまに伝える「上条集落」：飯島 泉（甲州市会計課長）
- ・信州から横浜へそして世界へシルクロードを駆ける：矢島宏雄（千曲市）
- ・2019（令和元年）フォーラム開催地、南砺市からその後
佐々木利幸（佐々木社寺株式会社）
- ・百草園と生糸商人、青木角蔵・三堀武蔵・森田友昇：
秦 哲子（東京都日野市ふるさと文化財課日野郷土資料館）
- ・群馬県南牧村から：今井泰徳（群馬県南牧村社会教育課長）
- ・英国で前橋生糸「マイバシ」に遭遇して：
藤井美登利（NPO 法人川越きものさんぽ・さいたま絹文化研究会）
シーラ・クリフ（十文字学園教授）
- ・生糸の街前橋：岩崎桂治（前橋絹文化研究会）

② 日本鉄道保存協会総会 2023 ヒロサワシティー大会開催支援

*** 当公益社団法人が代表幹事団体と事務局を担っている。**

令和5年11月10日（金）～11日（土）に精密機械企業である「ヒロサワ シティー」（茨城県筑西市）で総会、見学会を開催した。鉄道車両をはじめ、自動車、航空機など精密機械を搭載した乗り物全般のコレクションの展示で全国的に知られる施設。

◎11月10日（金）14時 総 会

主催者挨拶 花上嘉成（当会顧問・元東武博物館名誉館長）

代表幹事団体挨拶 米山淳一（公益社団法人横浜歴史資産調査会常務理事）

開催地報告1「自然・健康・文化の郷（まちづくり）ヒロサワ シティー」
広沢商事株式会社専務取締役 野口稔夫

開催地報告2「茨城県筑西市の紹介」
筑西市土木部都市整備課主任 大門智子

シンポジウム「歴史的鉄道車両の修復・保存・管理への挑戦」

基調講演「難物 PCB、アウベストの処理と対策」
北九州線車両保存会 手嶋康人

パネリスト 佐藤卓司（小樽市総合博物館学芸員）
亀沢 修（小坂鉄道保存会総務企画局長）
小崎正人（碓氷交流記念財団事務局長）

コーディネーター

大島登志彦（当協会顧問・高崎経済大学名誉教授）

◎11月11日（土） 見学会 ヒロサワシティー館内

③ 「コンサート in ヘリテージ～ピアノが案内する横浜の歴史とまち
Vol. 9～」

コロナ禍がおさまり、4年ぶりにピアノコンサートを開催した。

日 時 令和6年2月22日（木）午後6時30分から8時

場 所 横浜山手イギリス館 1階ホール

演奏者 後藤 泉（ピアニスト）

解説者 長谷川正英（横浜市）

曲目 ヨハンシュトラウス2世 「春の声 op410」

團伊玖磨 [花の街]

ベートーベン・リスト編曲ピアノ版：交響曲第9番ニ単調
Op125「歓喜の歌」など花にちなんだ7曲

主 催 公益社団法人横浜歴史資産調査会

後 援 公益財団法人横浜市緑の協会

協 力 横浜市都市デザイン室

<負担金事業>

歴史的建造物に関する調査・研究・普及啓発等業務

◎第45回歴史を生かしたまちづくりセミナーと見学会の開催

―戦後建築はみんなの宝―

とかく取り壊されやすい戦後建築にスポットを当て、将来に亘る貴重な
財産としてその魅力を探りました。

セミナー

日 時 令和5年12月9日（金）12時～15時

場 所 横浜みなと博物館 第1, 2会議室

講 演 松隈 洋（神奈川大学教授）

パネリスト

村島正章（神奈川建築士会常任理事）

笠井三義（建築家）

中井邦夫（神奈川大学教授）

コーディネーター

後藤 治（当公益社団理事・工学院大学理事長）

見学会 講師 笠井三義

コース 北仲―馬車道―さくら道り―吉田町―都橋商店街
福富町―伊勢佐木町・解散

主 催 公益社団法人横浜歴史資産調査会

後 援 横浜市都市整備局

2. 会員事業

当公益団体の事業の益々の発展を目的に、広く継続的な支援を得るために賛助会員、団体会員、ヨコハマヘリテイジ・サポートクラブ個人会員の募集を行いました。

また、個人会員、賛助会員、団体会員等を対象とした会報誌「ヨコハマヘリテイジスタイル」を年に4回（季刊）発行・配布するとともに、ホームページを通じて活動を広く発信した。

◎「ヨコハマヘリテイジスタイル各号の内容」

「ヨコハマヘリテイジスタイル 2023年夏号」（8月1日発行）

1 ページ：会長就任のご挨拶 古賀 学（松蔭大学教授）

2～3 ページ：「公益社団法人横浜歴史資産調査会新たな時代に向かって
常務理事 米山淳一

新任理事の紹介 青木 治（元横浜市都市整備局部長）

後藤 治（工学院大学理事長）

佐藤 彌右衛門（会社・団体役員）

新任専門委員 小野田滋（鉄道総合技術研究所アドバイザー）

4～7 ページ：公益社団法人横浜歴史資産調査会令和5年度事業計画紹介
＜基本的考え方＞

日頃から歴史的景観形成に必要な歴史的建造物などの資産を失わないために歴史的資産の保全と活用に関する調査研究、取得・保存、修理・復原、維持管理等の事業や歴史的資産に関する人材の育成及び普及啓発活動を実施する計画や提案を当公益団体が市民、行政、専門家など皆さまと力を合わせて実施いたします。

＜調査事業＞

◎横浜市都市整備局からの負担金事業)

横浜市との協定書に基づく歴史的建造物の保全・活用計画関連調査
を実施。歴史的建造物の登録、認定等に向けた調査の推進などを積極的に行う。

◎自主調査

- ・ 建築家 JH モーガン自邸の再建に向けた調査（藤沢市）
- ・ 山手地区西洋官群等の保全対策調査（横浜市）
- ・ 西教寺の文化財指定や認定に向けた調査（横浜市南区三春台）
- ・ 旧倉石忠雄家住宅の現況調査（長野県千曲市稲荷山・重伝建地区）
- ・ 横浜焼き・井上良齋窯場等の保全対策調査（横浜市南区南永田）
- ・ Y 家住宅の現況調査（横浜市磯子区）
- ・ 旧長濱検疫所1号停留所の保存に向けた市民活動調査（横浜市金沢区長浜）

<保護事業>

歴史的資産の調査の結果に基づき自主事業とし積極的に保護事業を行います。修理、復原、取得等

- ・「野毛都橋商店街ビル」の保全・管理
戦後建築の華として保全・管理を行います
- ・「旧湘南電鉄瀬戸変電所」の保全・活用
建屋を京急電鉄から寄贈を受け、保存・活用・管理します。
- ・建築家 JH、モーガン自邸（藤沢市）の再建・保存・活用事業
寄付金を中心として再建いたします。

<普及開発事業>

歴史を生かしたまちづくりの人材の育成やひろく皆さまに歴史をいかしたまちづくりへの興味や参加を促します。

◎受託等事業等

- ・横浜市都市整備局からの協定書に基づく負担金事業
「歴史をいかしたまちづくりセミナーと見学会の実施」
―戦後建築の魅力―の開催
- ・公益財団法人市緑の協会からの受託事業
俣野別邸庭園、旧伊藤博文邸などの職員向け研修セミナー
俣野別邸庭園、山手西洋館、馬場花木園藤本家等での市民向け講座

◎自主事業

- ・コンサートインヘリテージ「ピアノが案内する横浜市歴史とまち Vo19
- ・「シルクロードネットワーク・横浜フォーラム 2023」の開催支援
- ・「日本鉄道保全協会筑西市ヒロサワシティー大会 2023 の開催支援
- ・「全国近代化遺産活用連絡協議会」（文化庁）との連携事業

◎会員事業

- ・会報・ヨコハマヘリテイジスタイルの発行年に4回
- ・ホームページの充実
- ・「歴史をいかしたまちづくり相談室」の運営

8 ページ 旧モーガン邸再建のためのご寄付のお願い
寄付金名簿ほか

「ヨコハマヘリテイジスタイル 2023 秋号」（11月1日発行）

- 1 ページ：戦後建築の文化財としての価値
後藤 治（当公益社団理事・工学院大学理事長）
- 2 ページ：戦後建築の魅力について
松隈 洋（神奈川大学教授）
- 3 ページ：神奈川県内のモダニズム建築
村島正章（神奈川建築士会常任理事）

- 4 ページ：神奈川県近現代建築の調査について
笠井三義（株）カサイアーキテクチュアルデザイン代表
- 5 ページ：防火帯建築の建築学的意味
中井邦夫（神奈川大学教授）

6～7 ページ：戦後建築—京都の事例「京都を彩る建物や庭園」制度から
石川祐一（京都市文化財保護課）

- 8 ページ：宮村忠文庫の開設
- ・歴史を生かしたまちづくりセミナーの開催予告
「戦後建築はみんなの宝」開催予告
 - ・「ピアノで案内する横浜の歴史と文化ピアノコンサートの開催予告
 - ・シルクロードネットワーク横浜大会の開催予告
 - ・旧モーガン邸再建のためご寄付のお願い

「ヨコハマヘリテイジスタイル 2024 早春号」 （2024 年 1 月 31 日発行）

- 1 ページ 歴史文化の復権とまちづくり 古賀 学（当公益社団会長）
- 2～3 ページ まちと生活の一体感
—生活文化の視点から語る防火帯建築—
中井邦夫（神奈川大学教授（建築設計・意匠）
- 4 ページ シルクロードネットワークヨコハマ大会 2023 の開催のお知らせ
コンサートインヘリテイジ
ピアノが案内する横浜の歴史とまちづくり開催予告
旧モーガン邸再建のためのご寄付のお願い

「ヨコハマヘリテイジスタイル 2024 春号」 （2024 年 3 月 31 日発行）

- 1 ページ 近年の歴史的建築物の活用の促進
後藤 治（当公益社団理事・工学院大学理事長）
- 2～3 ページ 「住まい」を受け継ぐ
—神奈川県内の歴史的建築の保存活用—
小沢朝江（当公益社団専門委員・東海大学教授）
- 4 ページ シルクロードネットワーク横浜大会の開催報告
コンサートインヘリテイジ「ピアノが案内する横浜の歴史とまち」
の開催報告
旧モーガン邸再建のためのご寄付のお願い
令和5年度に「旧モーガン邸再建」と「歴史を生かしたまちづくり
ファンド」ご寄付いただいた皆様の名簿一覧

3. 歴史的建造物等に調査にかかる専門委員会の開催

令和5年度総会で決議され、設置された当公益団体の専門委員の委員会を開催し、調査事業等に関し協議を行った。

日 時 令和6年3月8日(金) 14時～
場 所 さくらワークス会議室
出席者 古賀 学 (当公益団体会長)
増渕文男 (当公益団体副会長)
関 和明 (当公益団体専門委員)
小野田滋 (当公益団体専門委員)
中藤誠二 (当公益団体専門委員)
西脇敏夫 (当公益団体監事)
岡部正嗣 (横浜市都市整備局都市デザイン室担当)
米山淳一 (当公益団体常務理事)
門倉正幸 (同 総務担当)

以 上